

春から4か月間リベラルアーツ体験授業を展開してきました。先生方から、普段の授業とは異なる切り口で講義していただき、どの講義も生徒にとって新鮮で好評でした。ここではその中の3つをご報告します。

【中国史】

「科挙」について講義を受け、試験と国づくりの関係を考えました。さらに現代の中国で行われる試験についての英文記事を読んだ後、試験を行う側の視点“から世界の教育事情についてリサーチしました。



【フランス史】

校長先生からも講義をしていただきました。フランスの歴史が動くときにはいつもお菓子があったというユニークなお話に生徒は引き込まれました。また英文記事を読み、ヨーロッパ、アジア、日本への影響も調査しました。



【西洋音楽史】

ロッシーニの生き方について講義を受けました。スロヴァキア国立オペラを実際に鑑賞し、さらに総支配人をお迎えして交流会も実現しました。



【最後に・・・】

和室でお礼の茶会を開きました。オペラと茶会を通し、互いが信頼しあうには「教養」がいかに大切であるかということを学びました。生徒の皆さんには、リベラルアーツ体験授業をこれからの自分の人生に活かしたり、世界の諸問題の解決のため自ら発信できる人になってほしいと思います。

